

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2025年7月～9月期)

目次

景況DIレポート	・・・1
製造業	・・・2
卸売業	・・・3
小売業	・・・4
サービス業	・・・5
建設業	・・・6
不動産業	・・・7
特別調査	・・・8
さわやか信用金庫独自調査	・・・9
各種統計指数	・・・10



第71号 2025年11月

夢と未来のサポーター

 さわやか信用金庫

景況DIレポート

2025年7月～9月期（第2四半期） NO. 71

調査方法について

- ①製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。
- ②当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。
- ③2025年度第2四半期を2025年度第1四半期と比較した実績と、2025年度第3四半期を比較した見通しを調査したものです。
- ④特別調査(492先)では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。
- ⑤独自調査(501先)ではさわやか信用金庫独自のテーマでアンケートを実施しています。
- ⑥3ヶ月ごと(毎四半期)にレポートを作成しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	58	11	97	22	14	16	218
5～9	39	7	17	14	12	5	94
10～19	29	7	6	12	13	3	70
20～29	11	5	7	9	11	2	45
30～49	11	3	4	14	8	2	42
50～99	13	3	2	5	3	1	27
100以上	8	0	0	0	0	0	8
計	169	36	133	76	61	29	504

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40%－30%」＝10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、『ビールは夏に売れる』『ボーナス時期には消費が増加する』等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-4.0	-10.8	-22.9	-11.8	15.1	22.3	-6.8
売上	-3.1	-11.9	-5.4	-1.2	14.8	17.5	-0.7
収益	-4.5	-12.6	-11.6	-11.9	22.5	19.0	-3.4

今期のコメント

製造業	業況・収益はわずかに改善、売上はわずかに悪化
卸売業	業況・売上・収益ともにやや悪化
小売業	業況・売上・収益ともにやや悪化
サービス業	業況・売上・収益ともにやや悪化
建設業	業況はやや悪化、売上はわずかに悪化、収益は大幅に改善
不動産業	業況・収益は改善、売上はわずかに悪化

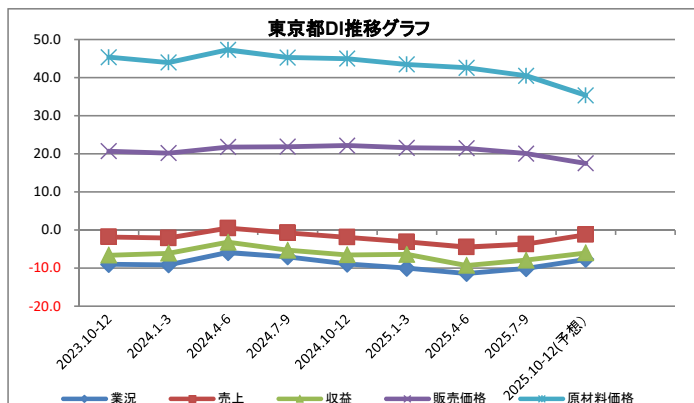
製造業

東京都全体 調査先有効回答先数 2,005先

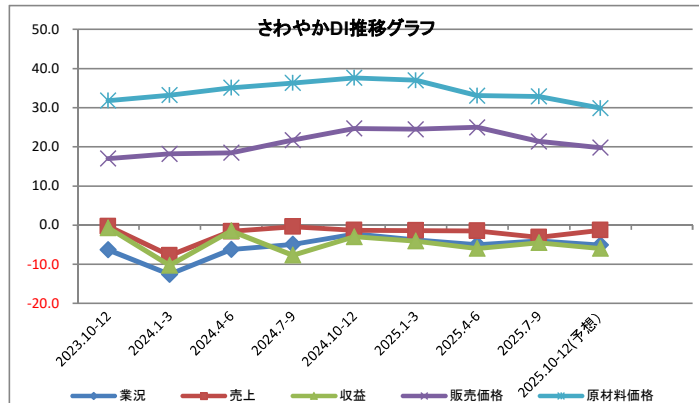
	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-7.0	-8.9	-10.0	-11.4	-10.1	-7.7
売上	-0.7	-1.9	-3.1	-4.5	-3.7	-1.2
収益	-5.3	-6.5	-6.4	-9.3	-7.9	-6.0
販売価格	21.9	22.2	21.6	21.5	20.1	17.5
原材料価格	45.3	45.0	43.5	42.6	40.5	35.4
借入実施	20.8	19.9	18.9	17.8	16.6	13.6
設備実施	17.1	16.6	17.9	17.0	17.4	16.6

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 169先

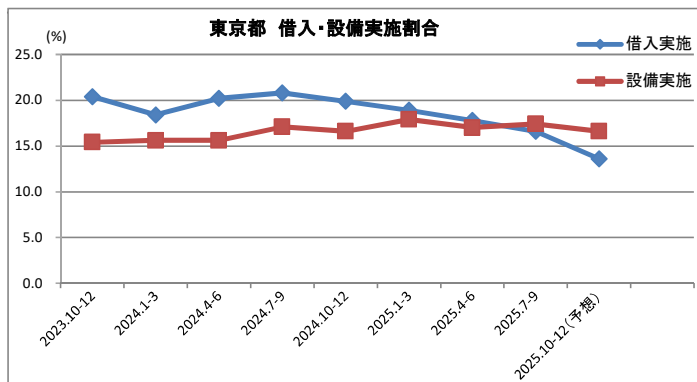
	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-4.9	-2.3	-3.8	-5.0	-4.0	-5.1
売上	-0.4	-1.3	-1.4	-1.5	-3.1	-1.3
収益	-7.7	-3.0	-4.1	-6.0	-4.5	-6.0
販売価格	21.7	24.7	24.5	25.0	21.4	19.8
原材料価格	36.3	37.6	37.0	33.1	32.9	29.9
借入実施	19.8	20.9	19.7	19.6	18.6	12.7
設備実施	18.5	18.0	16.3	14.4	16.2	16.5



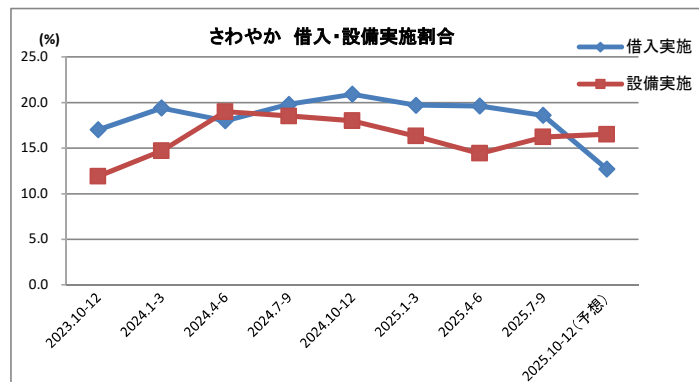
業況・売上・収益DIは対前期比わずかに改善したが、依然としてマイナス水準が続いている。
販売価格DIは対前期比わずかに低下し20.1となった。原材料価格DIは対前期比やや低下し40.5となったが、依然として高止まっている。



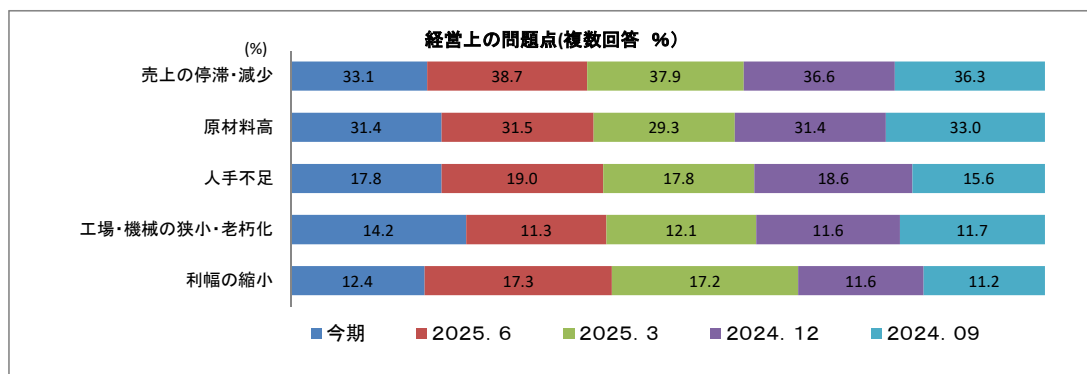
業況・収益DIはともに対前月比わずかに改善し、売上DIはわずかに悪化した。いずれもマイナス水準が続いている。
販売価格DIは対前期比やや低下し、21.4となった。原材料価格DIは対前期比わずかに低下し32.9となり、「東京都全体」と比較して低水準で推移した。



借入実施割合は今期16.6%と対前期比わずかに減少した。
設備実施割合は今期17.4%と対前期比わずかに増加した。



借入実施割合は今期18.6%と対前期比わずかに減少した。
設備実施割合は今期16.2%と対前期比やや増加した。



*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は5期連続で、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く33.1%となった。2位は「原材料高」(31.4%)の回答が続き、3位は「人手不足」(17.8%)の回答となった。

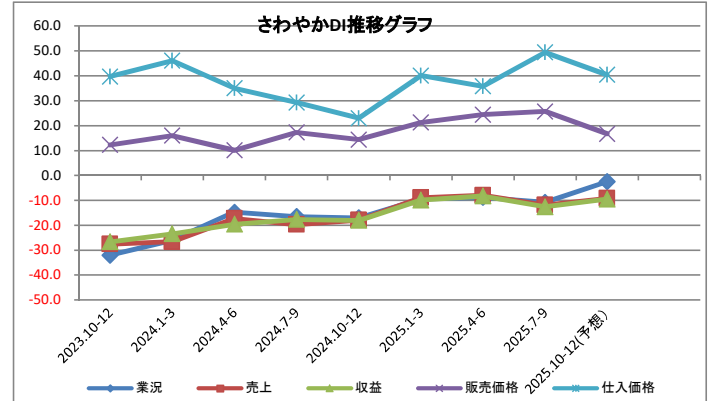
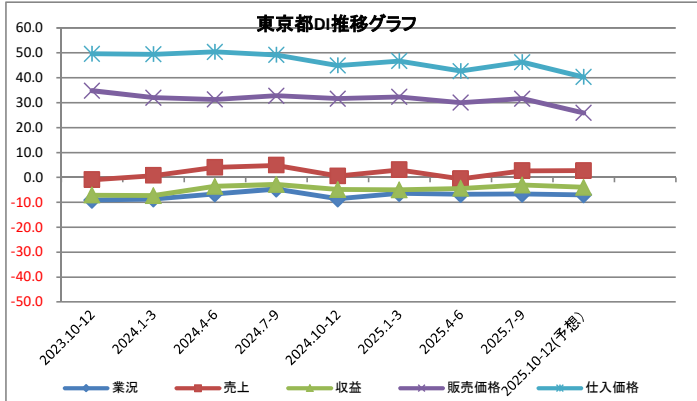
卸売業

東京都全体 調査先有効回答先数 679先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-4.7	-8.6	-6.4	-6.8	-6.7	-7.0
売上	4.8	0.5	3.0	-0.6	2.6	2.7
収益	-2.9	-4.9	-5.0	-4.4	-3.1	-4.0
販売価格	32.8	31.6	32.3	30.0	31.6	25.9
仕入価格	49.2	44.9	46.7	42.7	46.3	40.3
借入実施	22.3	22.1	23.3	23.0	22.0	19.1
設備実施	18.1	18.9	15.5	16.5	17.8	14.2

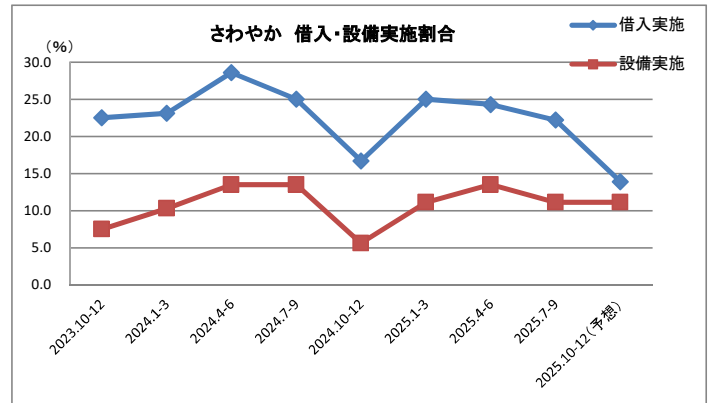
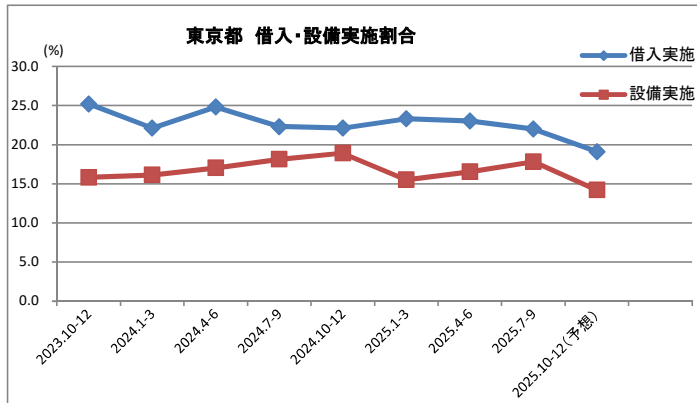
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 36先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-16.5	-17.0	-9.5	-8.8	-10.8	-2.5
売上	-19.7	-17.9	-8.9	-8.0	-11.9	-9.2
収益	-17.7	-18.1	-9.9	-8.3	-12.6	-9.5
販売価格	17.3	14.4	21.3	24.4	25.7	16.7
仕入価格	29.3	23.0	40.1	35.8	49.4	40.4
借入実施	25.0	16.7	25.0	24.3	22.2	13.9
設備実施	13.5	5.6	11.1	13.5	11.1	11.1



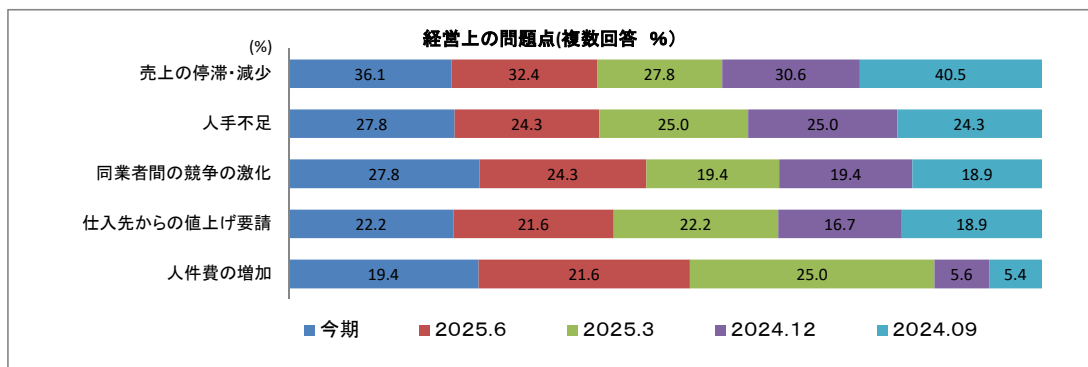
業況DIは対前期比ほぼ横ばいで、売上・収益DIは対前期比やや改善した。業況・収益DIは依然としてマイナス水準である。販売価格・仕入価格DIともに対前期比やや上昇し、仕入価格は46.3と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに対前期比やや悪化した。いずれも依然としてマイナス水準である。販売価格DIは対前期比わずかに上昇し、仕入価格DIは対前期比大幅に上昇した。販売価格は「東京都全体」と比較してやや低水準で推移した。



借入実施割合は対前期比わずかに減少し、今期22.0%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期17.8%となった。

借入実施割合は対前期比わずかに減少し、今期22.2%となった。設備実施割合は対前期比わずかに減少し、今期11.1%となった。



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は5期連続で、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く36.1%となった。2位は「人手不足」「同業者間の競争の激化」(同率2位27.8%)の回答が続いた。

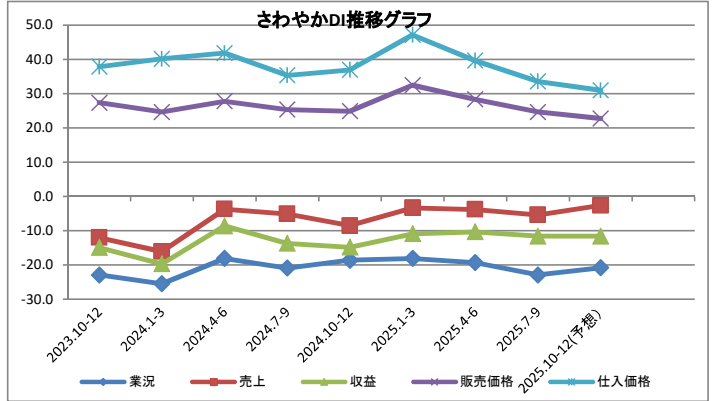
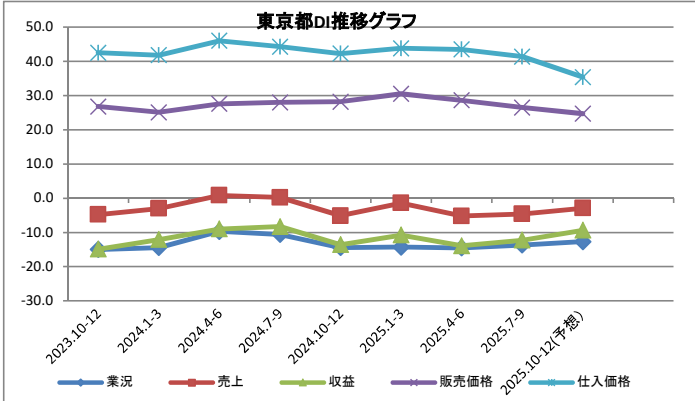
小売業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,219先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-10.6	-14.4	-14.3	-14.5	-13.7	-12.7
売上	0.2	-5.1	-1.4	-5.2	-4.6	-2.9
収益	-8.3	-13.6	-10.8	-13.9	-12.3	-9.4
販売価格	28.0	28.2	30.5	28.6	26.5	24.7
仕入価格	44.3	42.3	43.8	43.5	41.4	35.4
借入実施	9.5	9.5	9.4	9.1	8.9	6.2
設備実施	7.8	7.4	7.8	7.2	7.0	6.0

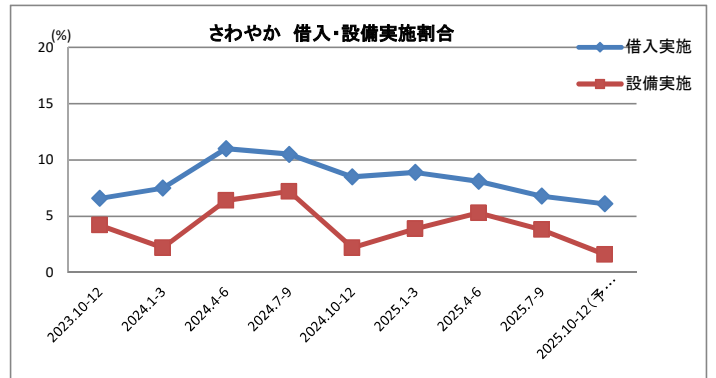
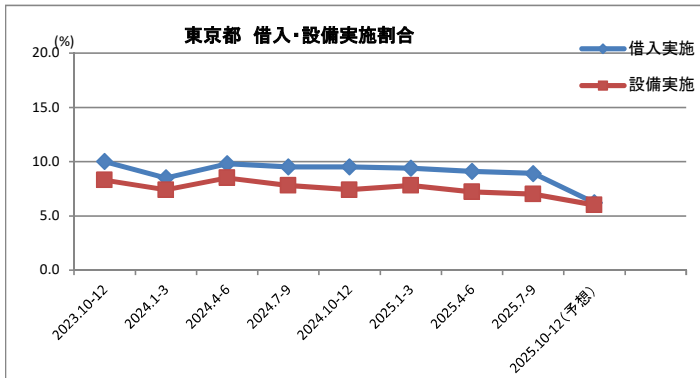
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 133先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-20.9	-18.6	-18.1	-19.3	-22.9	-20.8
売上	-5.1	-8.5	-3.3	-3.8	-5.4	-2.6
収益	-13.7	-14.8	-10.9	-10.3	-11.6	-11.6
販売価格	25.4	24.9	32.5	28.4	24.7	22.8
仕入価格	35.4	37.0	47.2	39.7	33.6	31.0
借入実施	10.5	8.5	8.9	8.1	6.8	6.1
設備実施	7.2	2.2	3.9	5.3	3.8	1.6



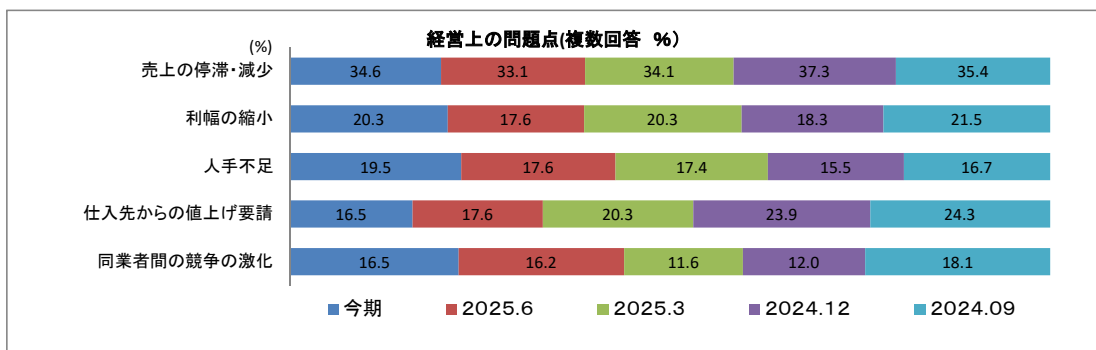
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに改善し、いずれも以前としてマイナス水準である。
販売価格・仕入価格DIはやや低下したが、仕入価格は、41.4と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに対前期比やや悪化し、依然としてマイナス水準である。
販売価格DIは対前期比やや低下し、仕入価格DIも対前期比低下した。仕入価格は「東京都全体」と比較して低水準となった。



借入実施割合は対前期比わずかに減少し、今期8.9%となった。
設備実施割合は対前期比わずかに減少し、今期7.0%となった。

借入実施割合は対前月比わずかに減少し、今期6.8%となった。
設備実施割合は対前期比わずかに減少し、今期3.8%となった。



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は5期連続で、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く34.6%となった。2位は「利幅の縮小」(20.3%)の回答割合が続き、3位は「人手不足」(19.5%)の回答となった。

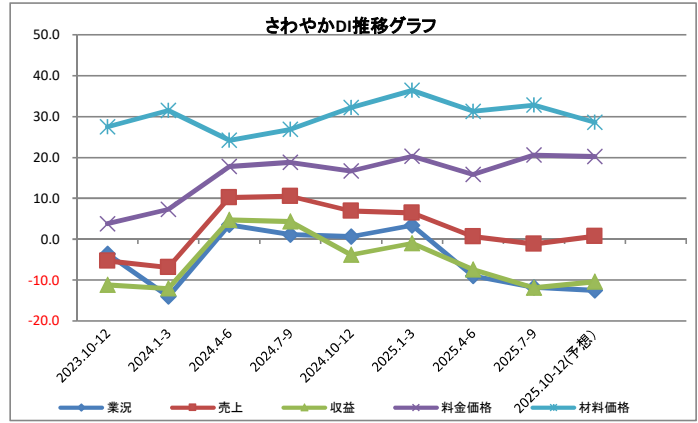
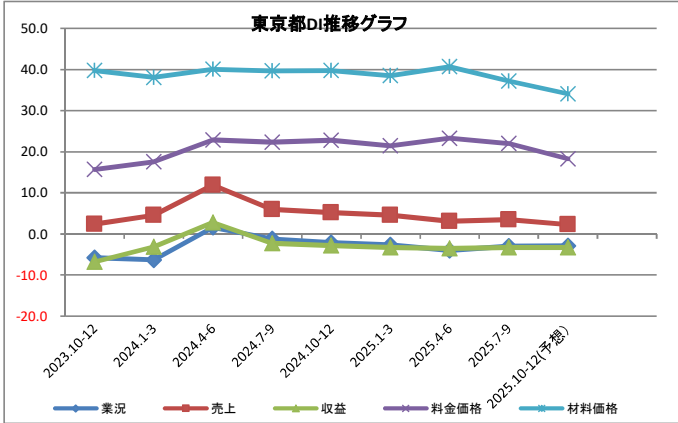
サービス業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,108先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	-1.2	-2.1	-2.7	-4.0	-3.0	-2.9
売上	6.0	5.2	4.6	3.1	3.5	2.3
収益	-2.3	-2.8	-3.3	-3.5	-3.3	-3.3
料金価格	22.3	22.8	21.5	23.3	22.0	18.3
材料価格	39.7	39.8	38.5	40.7	37.2	34.1
借入実施	14.8	15.6	14.7	14.3	14.0	13.4
設備実施	18.1	18.3	17.7	18.8	19.3	18.9

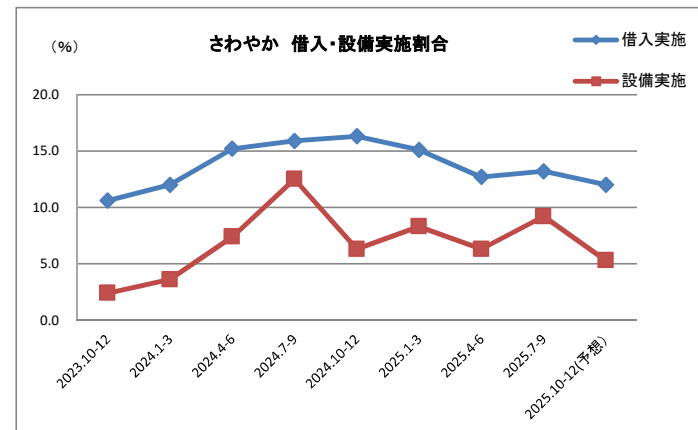
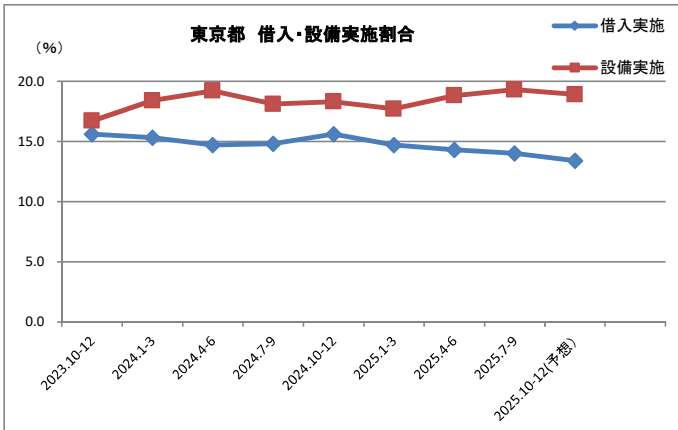
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 76先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	1.1	0.6	3.4	-9.0	-11.8	-12.5
売上	10.5	6.9	6.4	0.6	-1.2	0.7
収益	4.3	-3.8	-1.0	-7.4	-11.9	-10.4
料金価格	18.8	16.7	20.3	15.8	20.6	20.2
材料価格	26.9	32.2	36.4	31.3	32.8	28.6
借入実施	15.9	16.3	15.1	12.7	13.2	12.0
設備実施	12.5	6.3	8.3	6.3	9.2	5.3



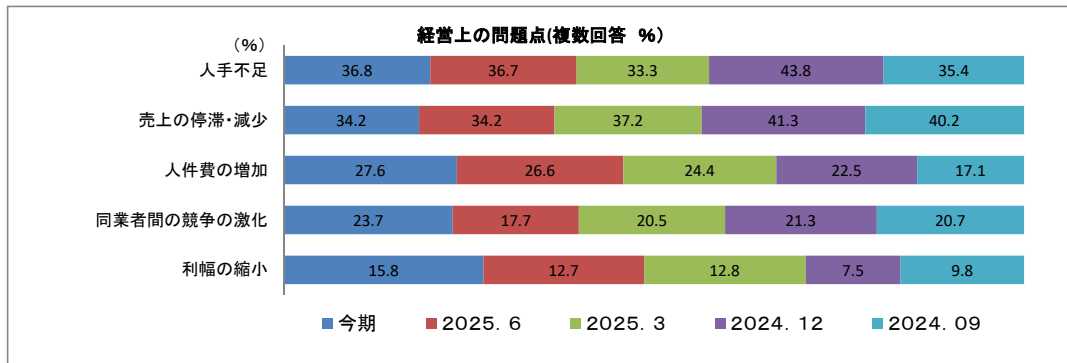
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに改善した。業況・収益DIは依然としてマイナス水準である。料金価格・材料価格DIはともにやや低下したが、材料価格は37.2と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに対前期比やや悪化し、いずれもマイナス水準となった。料金価格・材料価格DIは対前期比やや上昇したが、材料価格は「東京都全体」と比較して、やや低水準で推移した。



借入実施割合は対前期比わずかに減少し、今期14.0%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期19.3%となった。

借入実施割合は対前期比わずかに増加し、今期13.2%となった。設備実施割合は対前期比やや増加し、今期9.2%となった。



*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は前期に引続き、「人手不足」の回答割合が高く36.8%となった。2位は「売上の停滞・減少」(34.2%)の回答が続き、3位は「人件費の増加」(27.6%)の回答となった。

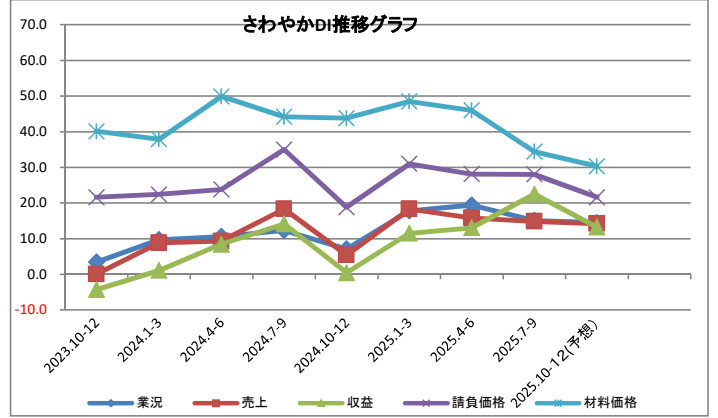
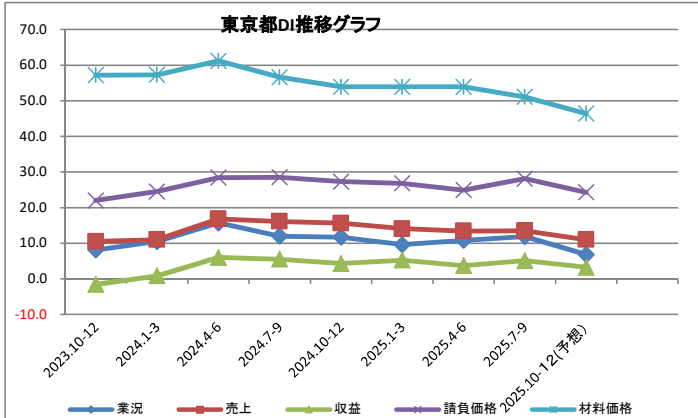
建設業

東京都全体 調査先有効回答先数 964先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	12.0	11.7	9.6	10.8	11.9	6.8
売上	16.1	15.6	14.1	13.4	13.5	11.0
収益	5.5	4.3	5.2	3.7	5.1	3.2
請負価格	28.5	27.3	26.8	24.9	28.1	24.3
材料価格	56.6	53.9	53.9	53.9	51.1	46.4
借入実施	25.7	25.3	22.7	21.9	23.4	20.9
設備実施	17.5	18.4	17.8	16.1	17.1	15.3

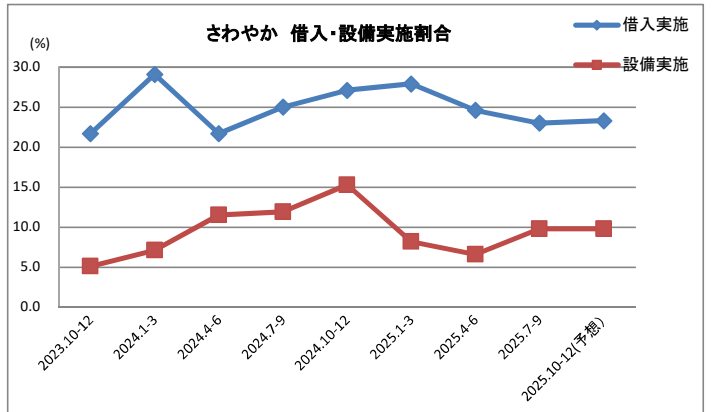
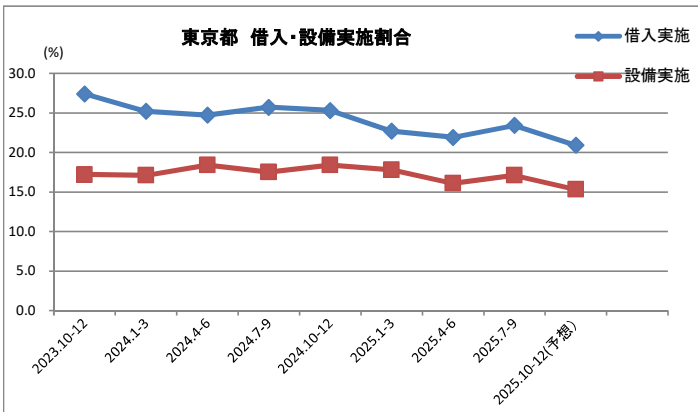
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 61先

	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	12.3	7.1	17.8	19.4	15.1	14.5
売上	18.3	5.4	18.3	15.8	14.8	14.2
収益	14.1	0.4	11.5	13.0	22.5	13.2
請負価格	35.0	18.8	31.0	28.1	28.0	21.6
材料価格	44.2	43.8	48.5	46.0	34.4	30.3
借入実施	25.0	27.1	27.9	24.6	23.0	23.3
設備実施	11.9	15.3	8.2	6.6	9.8	9.8



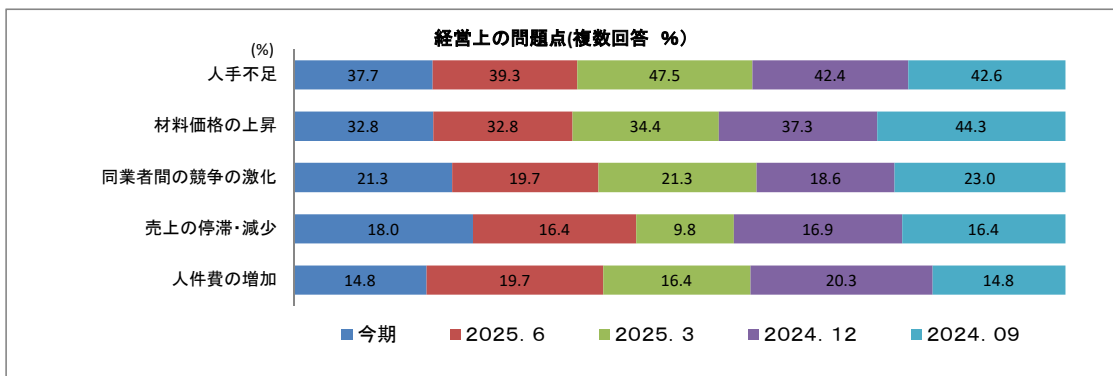
業況・収益DIは対前期比わずかに改善した。売上DIはほぼ前期比並みで推移した。請負価格DIは対前期比やや上昇した。材料価格DIは対前期比やや低下したが、51.1と高止まりしている。

業況DIは対前期比やや悪化し、売上DIも対前期比わずかに悪化した。収益DIは対前期比大幅に改善した。請負価格DIはほぼ前期比並みで推移し、材料価格DIは対前期比大幅に低下した。材料価格は34.4となり、「東京都全体」と比較して低水準で推移した。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、今期23.4%となった。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期17.1%となった。

借入実施割合は対前期比わずかに減少し、今期23.0%となった。設備実施割合は対前期比やや増加し、今期9.8%となった。



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は4期連続で、「人手不足」(37.7%)の回答割合が高かった。2位は「材料価格の上昇」(32.8%)の回答が続き、3位は「同業者間の競争の激化」(21.3%)の回答となった。

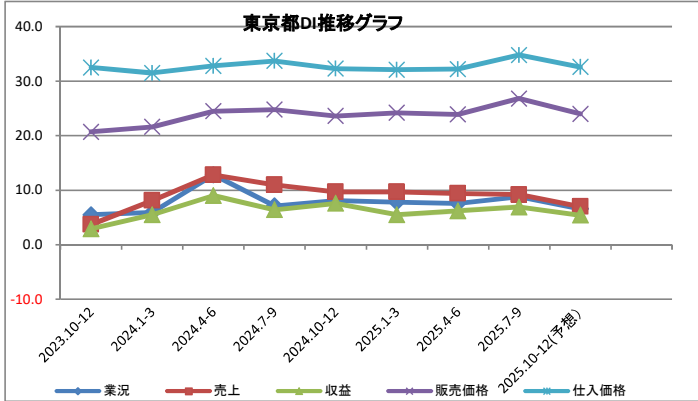
不動産業

東京都全体 調査先有効回答先数 561先

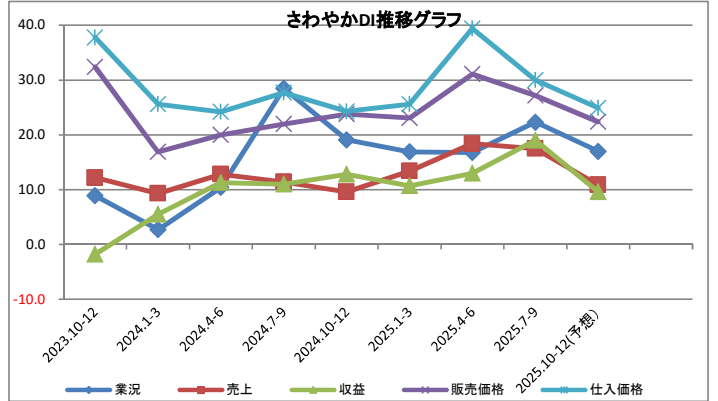
	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	7.1	8.1	7.8	7.6	8.8	6.6
売上	11.0	9.7	9.7	9.4	9.2	7.0
収益	6.4	7.6	5.5	6.2	6.9	5.4
販売価格	24.8	23.6	24.2	23.9	26.8	24.0
仕入価格	33.7	32.3	32.1	32.2	34.8	32.6
在庫数量	-11.4	-9.7	-9.1	-10.8	-11.4	-11.4
資金繰り	0.8	0.4	0.3	-1.3	-0.2	-1.2

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 29先

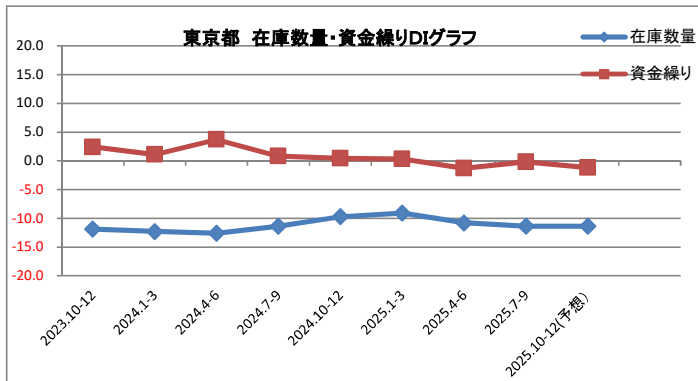
	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12 (予想)
業況	28.5	19.1	16.9	16.8	22.3	17.0
売上	11.4	9.6	13.4	18.4	17.5	10.9
収益	11.0	12.8	10.7	13.0	19.0	9.6
販売価格	22.0	23.8	23.1	31.1	27.2	22.4
仕入価格	27.7	24.3	25.6	39.4	30.0	24.9
在庫数量	7.0	2.9	2.7	-8.8	-1.7	1.3
資金繰り	12.1	11.0	3.2	1.1	4.7	1.2



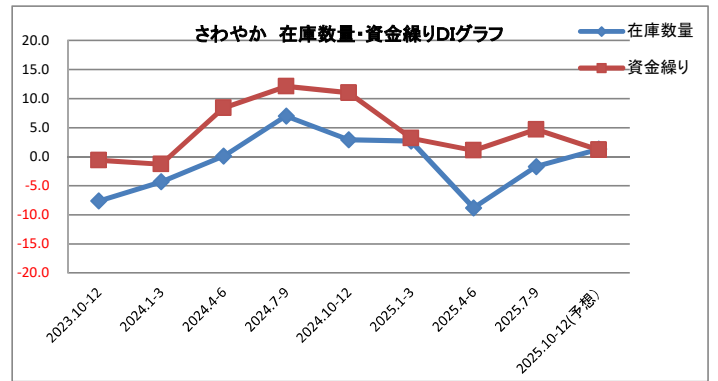
業況・収益DIはともに対前期比わずかに改善し、売上DIは対前期比わずかに悪化した。販売価格DIは対前期比やや上昇し、今期は26.8となった。仕入価格DIは対前期比やや上昇し、今期は34.8となった。



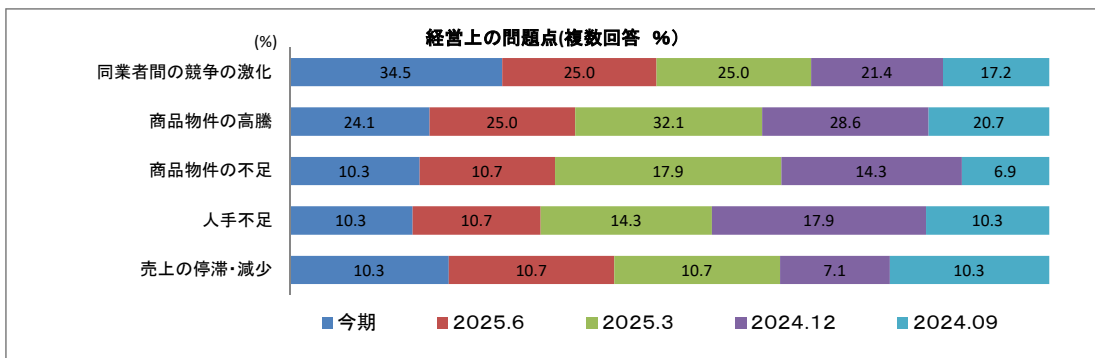
業況・収益DIはともに対前期比改善し、売上DIは対前期比わずかに悪化した。販売価格・仕入価格DIともに対前期比低下した。「東京都全体」と比較して、販売価格は27.2とほぼ同水準で、仕入価格は30.0とやや低水準となった。



在庫数量DIは対前期比わずかに減少し、今期△11.4と依然としてマイナスで推移した。資金繰りDIは対前期比わずかに改善し、今期は△0.2となった。



在庫数量DIは対前期比増加し、今期△1.7となった。資金繰りDIは対前期比やや改善し、今期4.7となった。

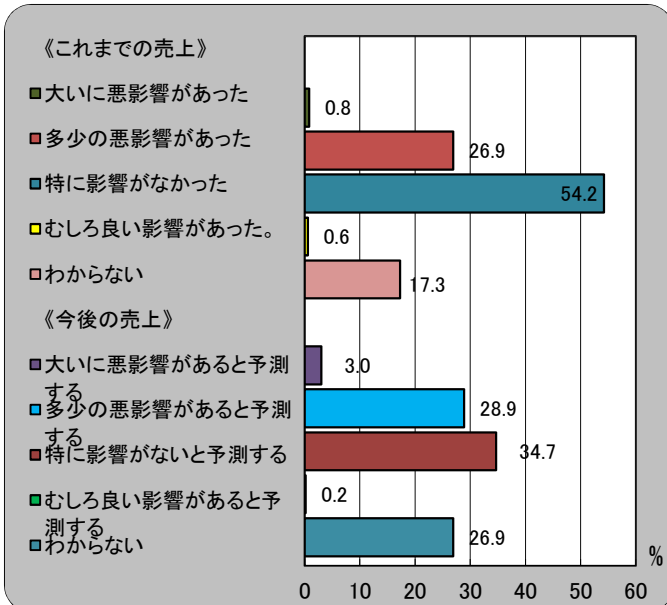


*経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先ご回答)では、1位は2期連続で「同業者間の競争の激化」(34.5%)の回答割合が高く、2位は「商品物件の高騰」(24.1%)の回答が続き、3位は「商品物件の不足」「人手不足」「売上の停滞・減少」(同率3位10.3%)となった。

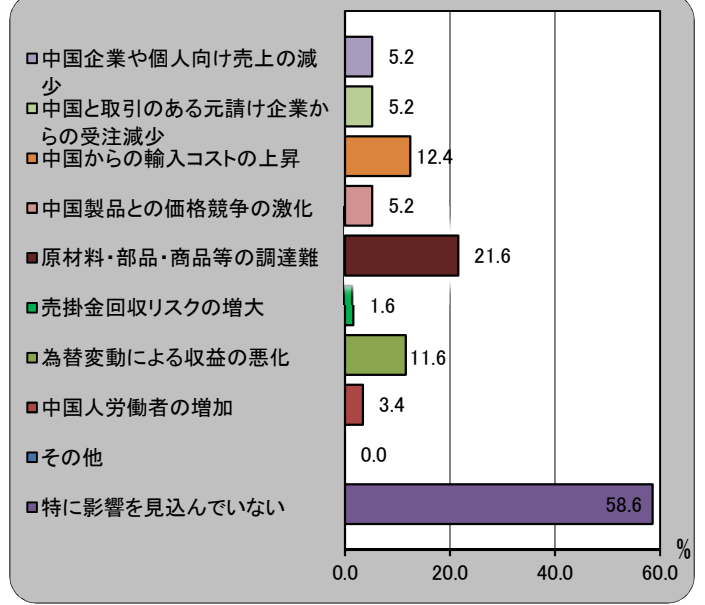
特別調査：不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について

《さわやか信用金庫・アンケート回答 492先》

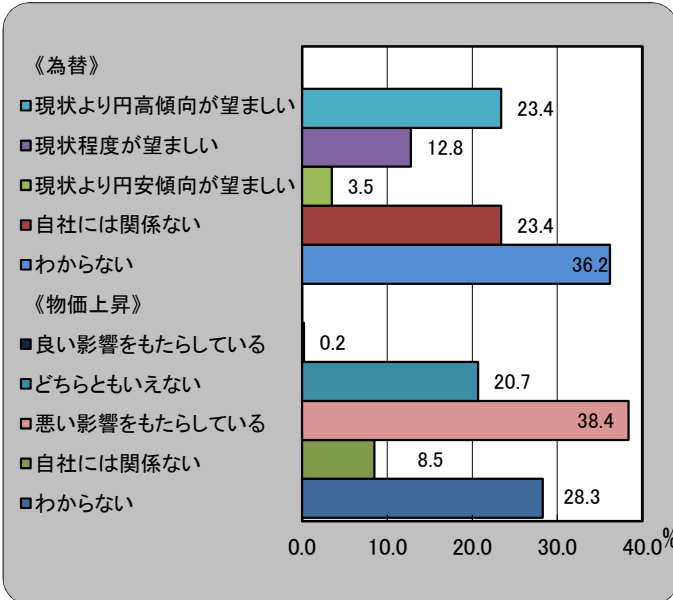
①米国経済社会政策による貴社売上への影響



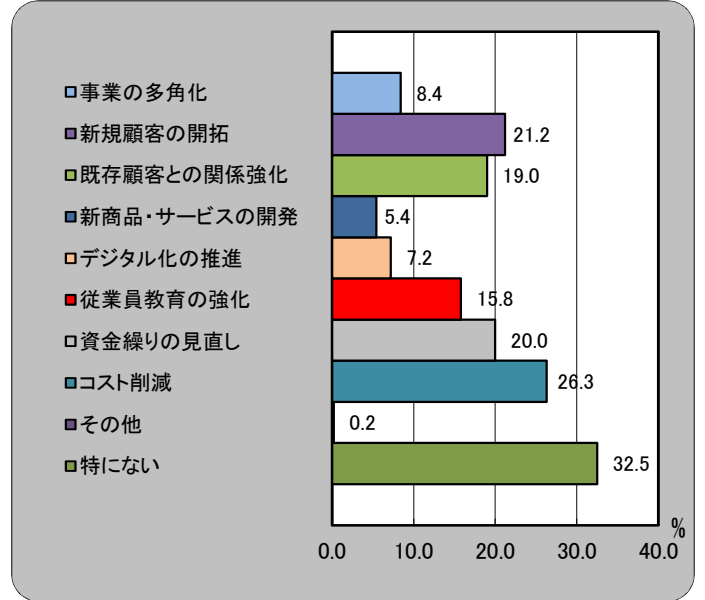
②中国経済減速による間接的事象も含めた影響



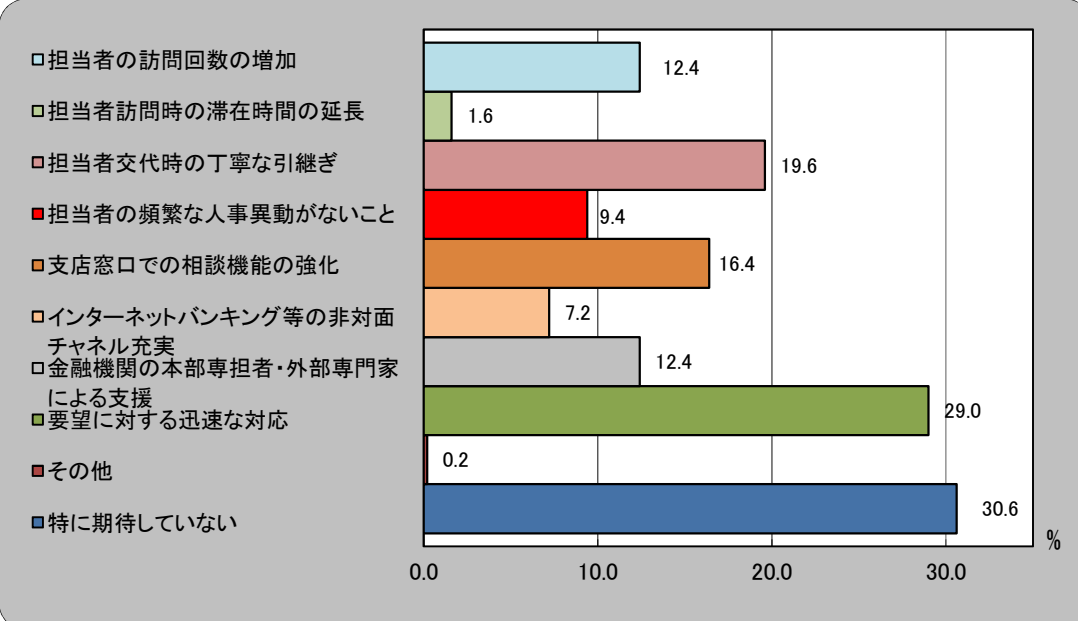
③貴社にとって望ましい外国為替相場の水準



④不透明感増す経済社会情勢で見直したい取組

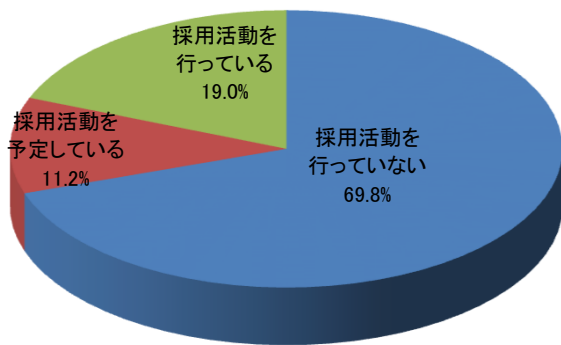


⑤不透明な経済情勢で地域金融機関に望むこと

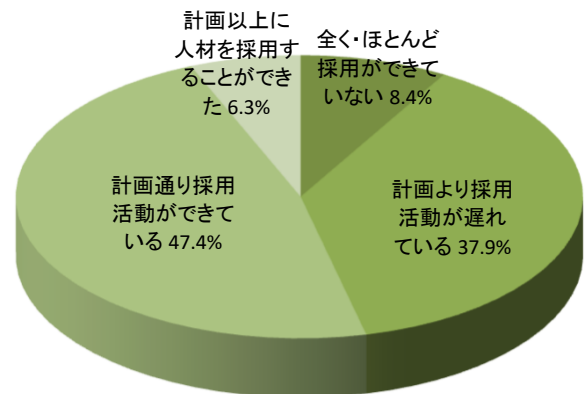


さわやか信用金庫独自調査:現在の採用活動について (さわやか信用金庫・アンケート回答 501先)

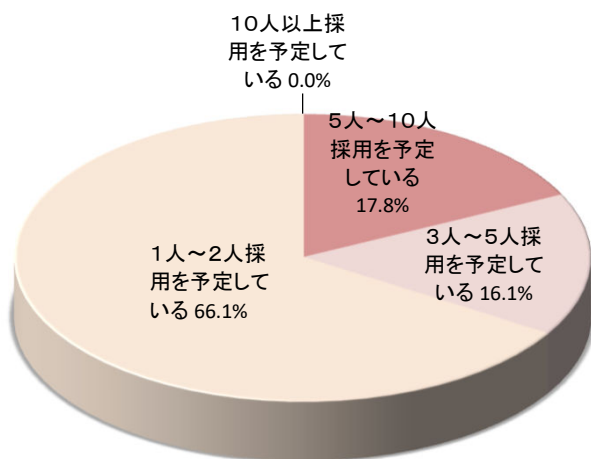
①現在の採用活動についてお聞きます



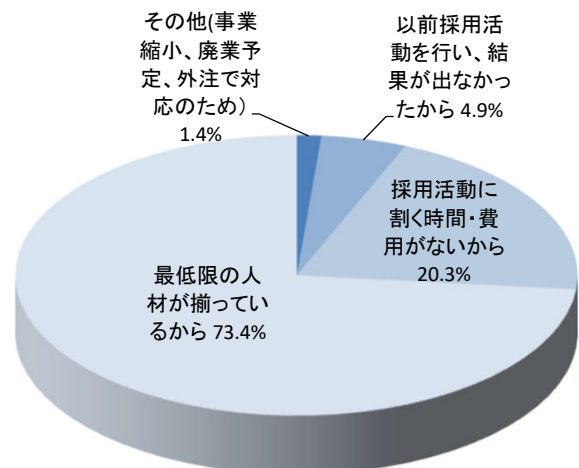
②採用活動の計画・実績についてお聞きます



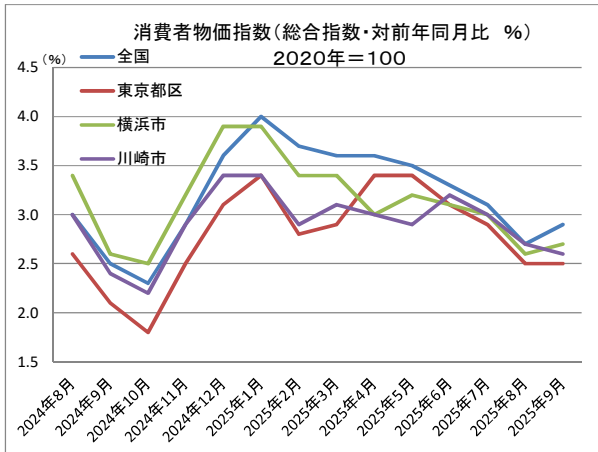
③採用予定人数についてお聞きます



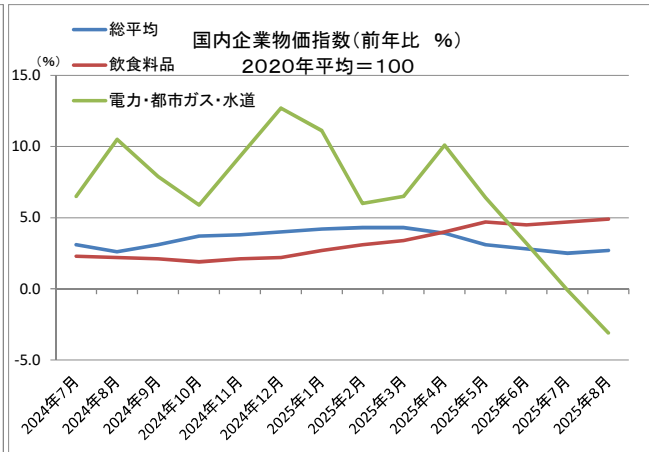
④採用活動を行っていない理由をお聞きます



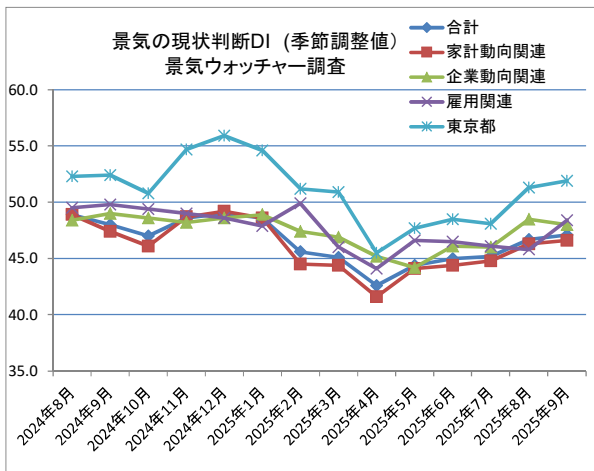
各種統計指数



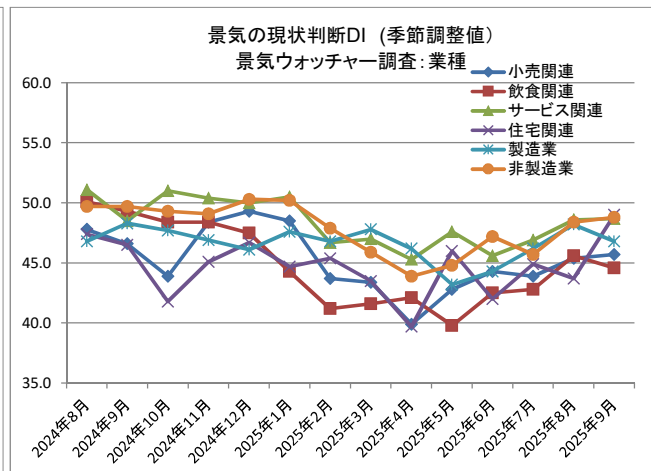
(出典:総務省統計局)



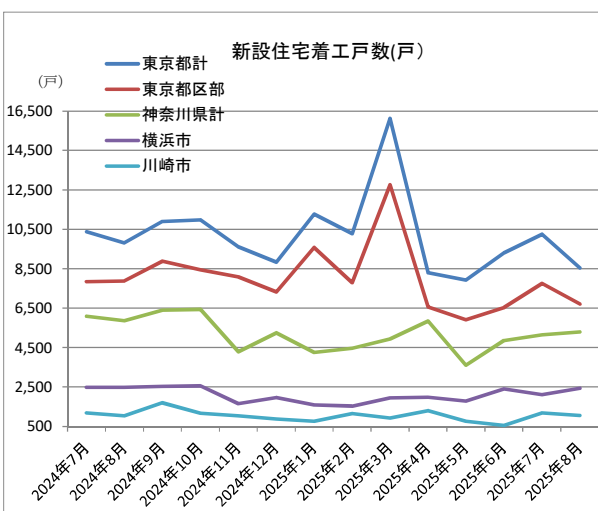
(出典:日本銀行)



(出典:内閣府)



(出典:内閣府)



(出典:国土交通省・東京都・神奈川県)

内閣府月例経済報告/基調判断の変化	
2024年10月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2024年11月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2024年12月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年1月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年2月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年3月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2025年4月	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。
2025年5月	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。
2025年6月	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。
2025年7月	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年8月	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。
2025年9月	景気は、米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。

(出典:内閣府)

さわやか信用金庫 コンサルティングセンターからのご案内

次世代経営者向け
“さわやか塾” プレセミナー

永続発展企業の条件

～後継経営者が取り組まなければいけないこと～

企業が永続発展するためにはどのような条件が必要でしょうか。それは“過去の成功体験”や“業界の習慣”にこだわることなく、環境変化に対応することです。世の中が困っていることや今までになかった価値を創造し「世の中にとって価値ある企業」になることが永続発展の第1歩といえます。当セミナーでは永続発展する企業の条件を中心に、現場で役立つ具体的なプロフェッショナルスキルを学んでいただきます。

■ セミナー開催要項

【日時】

2026年2月3日(火)
14:00～15:30

【場所】

さわやか信用金庫

羽田本部 2階大会議室

住所：大田区萩中2-2-1

最寄駅：京浜急行空港線 糀谷駅

※施設には駐車場がございません。
公共交通機関をご利用ください。

参加無料

■ 講師のご紹介

株式会社タナベコンサルティング

CFコンサルティング事業部
エグゼクティブパートナー

三浦 保夫 氏



企業・金融機関・会計事務所が抱える悩みを解決する組織づくり、人材育成のエキスパートとして多くのクライアントの成長を支援。

「人の潜在能力を120%伸ばす」ことを信条に多くの企業の組織づくりと幹部・社員の研修を実施。また、国内案件を中心に幅広い業界、M&A案件開発やM&Aアドバイザリー業務、金融機関の取引先企業支援や行員教育にも多くの実績を持つ。

■ お問い合わせについて

さわやか信用金庫 コンサルティングセンター
〒144-0047 東京都大田区萩中2-2-1
TEL:(03)3742-0626



夢と未来のサポーター



さわやか信用金庫